



# 11月 ほけんだより

令和2年10月30日発行  
軽野保育園

朝晩は寒く感じることも多くなり冬の足音の近づきを感じます。様々な感染症に負けないよう生活リズムや服装、食生活を見直し体づくりに努めていきましょう。



## 今冬のインフルエンザ予防接種について

この冬は新型コロナウイルスとインフルエンザが同時に流行する可能性があることから、日本感染症学会は医療従事者や持病がある人に加え、小児に対して、インフルエンザワクチンの接種を強く推奨するとしています。

海外では、インフルエンザワクチンの予防接種を受けた人は、そうでない人よりも新型コロナウイルス感染症による重症化リスク・死亡リスクが減ったという研究論文も発表されています。（査読前）

接種を検討中の人は、

今冬は接種を希望する人が増えると見込まれますので、かかりつけ医へ事前に問い合わせをする事をおすすめします。



## インフルエンザにかかってしまったら・・・

登園基準は学校保健安全法に基づきます。

インフルエンザ出席停止期間

「発症した後5日を経過し、かつ解熱3日を経過するまで」としています

**発症した日を0日目とし、翌日から5日間は保育園をお休み頂きます**

また解熱した日を0日目とし3日間はお休みです。

治って登園する際には、保護者が記入する「登園届」を提出して下さい。

（届け出用紙は保育園にあります）



## 呼吸器症状について

新型コロナウイルス感染症の影響で「呼吸器症状」という言葉を耳にする機会が増えていますね。呼吸器症状とは『咳・鼻水・くしゃみ・喉の痛み・ゼロゼロした呼吸音等をさします。』

お子さんにこのような症状があり、登園させても大丈夫かな・・・と

判断に迷う時は『**楽しく保育園での生活を送れるかどうか**』を目安に考えるようにして下さい。

鼻水がひどくてお友達と遊べない、喉が痛くてご飯が食べられない、咳がひどくてお昼寝ができないこういった時は、登園を控えていただき、ご家庭でゆっくり過ごすようにしましょう。



11月の前の月、10月の旧暦名は神無月。これは、全国の神様が出雲大社に集まり それ以外の地域に神様がいなくなる月、という意味の一般的によく知られている俗説ですね。

そして11月は出雲大社から神様が帰ってくる月で神帰月（かみきづき）とも呼ばれるそうです。

神様が帰ってくると聞くと、何だかそれだけでほっとしてしまいます。

いざという時にはやはり「神様助けて」とか

「神様お願いします」などと、つい口にしたり心の中でつぶやいたりしてしまったことが皆さんもあるのではないのでしょうか。

神様のように目には見えないものの存在を信じるかどうかは人それぞれですが、心の中に『自分だけの頼りになる何か』があることはその人の強さとなり、やさしさになると私は思っています。

神様おかえりなさいの11月。ちょっと安心した気持ちで、強くやさしく過ごしてみましよう。

看護師 野崎 幸子

